

自脱型コンバインを用いた短稈あわ品種の効率的収穫法

【概要】

1 稈長が1m以下で倒伏しにくい短稈あわ品種「アワ岩手糯 11号」の収穫に自脱型コンバインが利用可能で、脱穀選別損失を8~16%にすることで穀粒損失割合20%以下で収穫できます。また、「アワ岩手糯 11号」の期待収量（手刈収量）360kg/10aに対してコンバイン収量は約300kg/10aとなります。（図1、2）。

2 脱穀選別損失を概ね15%以下に抑えるコンバイン設定は以下のとおりです。

コンケープ	チャフシープ	唐箕ファン	送塵弁	排塵口遮蔽板	適性作業速度
麦用を使用	開度最大	弱	開度全閉	開度 2/3 閉~全閉	0.35~0.45m/s

3 脱穀選別損失は排粒口流量が高いほど増加し、排粒口流量は作業速度に比例することから、排粒口流量1,000~1,500kg/h程度とする必要があります（図3）。そのための作業速度は0.35~0.45m/sです（図4）。

4 本試験は「アワ岩手糯 11号」を対象に、I社製3条刈自脱型コンバインを使用し2条刈りで実施しています。自脱型コンバインの利用に当たっては、機種ごとの仕様に違いがあるので、本試験データを参考に個別の設定が必要です。

【試験データ等】

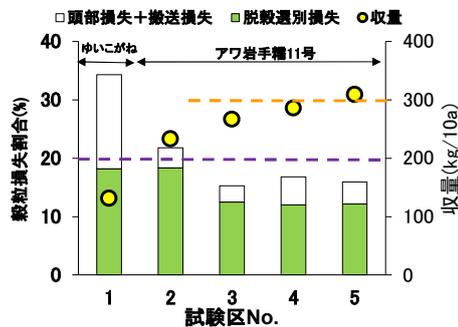


図1 試験別損失とコンバイン収量



図2 自脱型コンバインを用いたアワ岩手糯 11号の収穫



図3 排粒口流量と脱穀選別損失

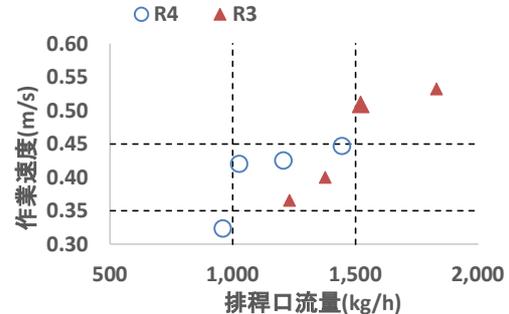


図4 排粒口流量と作業速度

【令和5年度成果】自脱型コンバインを用いた短稈あわ品種の効率的収穫法（R5-指-01）